

# 報 告 書

開 催 日 時	令和 7 年 11 月 26 日(水)                      10 時 00 分   ～   11 時 30 分		
自治協議会名	西柘植地域まちづくり協議会	開催場所	西柘植地区 市民センター
出席議員	寺村 京子、上田 宗久、北山 太加視、西田 方計		
	班 長	寺村 京子	記録・報告者                      北山 太加視
参加人数	6      名		

## 【主な意見・提言等】

### ＜地域包括交付金について＞

- ・活動には地域包括交付金を充当しているが、交付金額の減少が続いているので住民から 1 戸につき千円、約 6 0 0 戸の協力を仰いで活動原資とするため、全戸を訪問した。

### ＜地区内の事業者との取組みについて＞

- ・工作機メーカー、飲料企業、食肉企業、送風機メーカー、建機会社など地域への進出企業などへ地域振興の協力を要請してきた。
- ・新堂駅前の開発では、図書館、支所、銀行などが入る複合施設となったのは、工作機メーカーの協力もあって、成果を上げた。

①図書館では亀山市立図書館をモデルとした。

②更に周辺地域も夜間が明るくなるよう企業の協力を得て、ソーラー式の街灯を設置し、子どもの安心に繋げた。

③地域にコインランドリーが無く困っていたので、地域貢献として設置を促した。

④鶏卵事業者の臭気問題では、吸着材の使用により改善を促すなど成果を上げてきた。

⑤多文化共生では、地域人口の 1 割を外国籍住人が占める。

仲良く住んでよかったと思われるよう心掛けているなど、仲良くの思いを大事にしている。

⑥国際交流協会と「易しい日本語講座」を開催、さらに企業の外国人従業員の人数、国籍、災害対応等のアンケート調査を行い、避難所対応に繋げようとしていること。また、空家斡旋も行っているとのこと。

等々の報告を受ける。協議会としては、地域をどの様に創るかプランを練り、目標をもって取り組んできたこと、組織の中心となる者は、1 期 2 年では短く、長期であることも必要だとの考えと、支所に「まち協担当者」の配置を望んでいるとのことであった。

＜地区市民センターの活用状況について＞

- ・伊賀市議会令和7年2月定例会の付帯決議に係る光熱水費の件について  
受電はキュービクルにより6600V、大ホールは休止状態にあるが消防法の関係で通電状態が必要であること。会館利用者は利便性からR4＝9,147人、R5＝11,780人、R6＝11,809人、R7も9月までで6,403人に達している。空調もエアコン方式として節電に努めるなど努力している。
- ・施設の床はカーペット張りのため、定期清掃が欠かせないなど施設独特の苦勞あること等管理に苦慮しているとの説明があった。
- ・議員側からは、キュービクルによる受電は、東部自治協（旧上野商業高校）で見られることを報告し、こうした話を伺って事情が分かることもあった。

伊賀市議会議長 様

令和7年12月9日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和7年度 地域意見交換会 3 班

班長 寺村 京子